

テーマ
UNESCO 世界無形文化遺産 ‘和食’ の作り方を紹介しよう
目標
学習レベル 1～3 スペイン語で日本料理が紹介できる。さらに実際に料理し、その模様を動画サイトで情報発信できる。
コミュニケーション能力指標
食 1-m 自分が作ることができる料理や、作ってみたい料理の名前を口頭でまたは書いて伝えることができる。 食 2-i 料理の大まかな作り方を、身振りを交えたり、絵に描いたりして、口頭で説明し合うことができる。 食 3-b 料理番組を見たり、各地の代表的な料理のレシピなどを讀んだりして、材料や作り方が理解できる。 食 3-c 日本の代表的な料理や自分の住んでいる地域の料理について、口頭または文章で紹介できる。
学習シナリオ
〈場面状況〉 M 高校ではスペイン語のクラスでスペイン料理を知るためにその調理実習を行った。その際、スペイン料理の作り方のビデオを視聴し、それを参考にして調理し、生徒たち自身が学び取ったことは多かったようである。それに刺激された生徒たちは自分たちもスペイン語を通してスペイン語圏の人たちに和食を紹介したいと思うようになった。そこで、スペイン語圏の人たちに和食に関するアンケートを作成し、それをインタビューまたは記述形式で実施し、それをもとに料理を1品選んでそのレシピをスペイン語で作成し、また実際に調理をし、それを撮影してそのビデオを動画サイトに載せて紹介することになった。
〈活動の流れ〉 ①作成した動画を観たスペイン語圏在住の視聴者にも現地で調理してもらえるよう、現地で調達可能な食材や調味料、調理器具、スペイン語でのレシピの有無を調べる。 ②①の結果に基づいて、候補を絞り込み、アンケートを作成する。アンケートにはスペイン語での料理の紹介文を載せておく。 ③アンケートはメールで実施。対象者は国内外に住むスペイン語圏出身者。 ④アンケートの集計結果に基づき、料理を決める。 ⑤スペイン語で書かれたレシピを和訳し、調理手順を把握する。また、調理実習に相応しい形にアレンジし、スクリプトを作成する。 ⑥⑤のスクリプトの口頭練習を。 ⑦便宜上、調理担当とスペイン語での説明担当を分けて調理実習するが、全員がどちらの役割もこなせるようにしておく。調理する人はスペイン語で説明された通りに調理し、またスペイン語で説明する人は調理している人が調理しやすいよう説明する。そしてその模様をビデオ撮りし、編集する。 ⑧ビデオを鑑賞し、相互評価をする。さらに動画サイトに載せる前にインタビューをしたスペイン語圏の人にもビデオを見てもらい、その感想を聞く。

総括的評価

- ・ アンケート項目が2つ以上作成できたか。
 - ・ 現地でも調理可能且つビデオ撮りを意識したレシピ（スクリプト）が作成できたか。
 - ・ ビデオ内でのスペイン語は視聴者を意識したものになっていたか。
 - ・ レシピ内容を理解したスクリプトの再現と動きとなっていたか。
 - ・ ビデオを観た人がその料理を作ってみたい、食べてみたいと感じるような魅力的なものとなっているか。
- 成果物：和食を紹介するために作成したビデオ

指示文

スペイン語で日本料理の作り方を紹介するビデオを作ります。そしてそれを動画サイトにアップしていろんな人に見てもらえるようにします。和食に興味があり、食べてみたいと思っている人がそのビデオを見て、是非その料理を作ってみたい、食べてみたいと思ってもらえるようなビデオを作りましょう。手順、提出物、評価、注意点は以下の通りです。

手順

①アンケート

どんな料理を調理し、紹介するのかを決めるためにアンケートを作成し、実施します。まず、アンケートを作成する前にどんな料理が自分たちに作れて、またその料理が現地でも作ってもらえるかを視野に入れて、料理の取捨選択をします。そのためにインターネットを使って日本料理がどのようにスペイン語で紹介され、また日本の食材や調味料、調理器具が現地でも調達可能かを調査し、アンケートの質問項目に載せる料理を絞ります。その後、それらの料理のスペイン語での説明文を分担して和訳します。そして、どのようにスペイン語で各料理を紹介するのかをみんなで相談しながら各自がまとめます。また、アンケートで何を聞きたいかも考え、アンケートを作成し、実施します。アンケートは国内外在住のスペイン語圏の方々にメールにて依頼し、実施します。

②レシピ

アンケートの結果を踏まえ、何を作るのかを決めます。その料理のスペイン語で書かれたレシピを読み、和訳し、それをビデオ撮りするためのスクリプトに書き換えます。スクリプトができたなら、各自パートを決め、発音練習し、暗記します。

③調理実習

スペイン語を話しながら調理するのは難しいので、話す人と調理する人を分けます。調理する人は自分が暗記したパート以外のスペイン語もしっかり理解できていないといけません。また、話す人は調理する人の動きも見ながら話す必要があります。実習する前にシミュレーション練習もします。当日は念のためカメラを2台回します。録音がうまくできていない場合は音声だけ後から入れることにします。

④ビデオ作成

できるだけ短いビデオにするために編集します。また、音声が入り込んでいない場合は映像に合わせて後からスペイン語の説明を入れます。完成したビデオはアンケートに協力していただいた方や後輩たちに見てもらったり、動画サイトにアップしたりします。

⑤まとめ

このプロジェクトワークを通しての感想やよかった点、改善点、反省点などを書いてもらいます。

提出物

- ①スペイン語で説明された料理の和訳
- ②スペイン語で書かれた料理の要約とアンケート質問項目
- ③調理する料理のレシピの和訳と要約

評価

- ①アンケートの質問や説明項目が2つ以上作成できたかどうか。
- ②現地でも調理することができ、ビデオを撮ることを意識したレシピが作成できたかどうか。
- ③ビデオ作成時のスクリプトの再生が視聴者を意識したもの（発音や声の大きさ）となっていたかどうか。
- ④調理実習時にスペイン語の説明と自分の動作がマッチしていたかどうか。
- ⑤視聴者が実際に調理してみたいと思えるようなビデオだったか。（学生の自己・相互評価）

注意点

評価⑤の「自己・相互評価」は定期考査内での記述形式とします。

学習者への個人的特性への対応

- ・リピート練習を何度やっても同じように再生できない学生がいた。その学生に配慮しながら学生たちを促し、学生たち同士で折り合いをつけてもって、発音に問題ある学生には短く、簡単なパートを担当するようにしてもらった。
- ・全員が受験生だったため、このプロジェクトに関する持ち帰りの課題（宿題）は出さないよう配慮した。

学習項目と 3 × 3 + 3 との対応表

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	和食の料理名、日本の調味料や食材のスペイン語を調べる。	スペイン語圏で知られている日本料理や日本の食材、調味料を調べ、またそれらが手に入るかどうか調べる。	和食に関するアンケートを実施、その実態を知る。
できる	スペイン語で書かれた日本料理に関する資料を読む。	同じ食材や調味料であってもその使い方や風味が違うこと、それらをどうアレンジするかを知る。	アンケートの結果からいちばん食べてみたいと回答が多かった料理をスペイン語で説明しながら調理する。
つながる	現地でも調理できるような日本料理の作り方をスペイン語で書く。	日本のそれぞれの料理や食材、調味料がどういったもので、どのように使われるか、またその代替りとなるものがあるかを紹介する。	調理したビデオを動画サイトにアップする。
三連携	関心・意欲・態度/学習スタイル	スペイン語で説明しながら日本料理を作る。	
	既習内容・経験/他教科の内容	既習内容・経験→調理に関するスペイン語、スペイン料理の調理実習 他教科→家庭（食材や調理器具、調理方法など）、地理（漁獲量や野菜の生産・消費量など）	
	教室の外の人・モノ・情報	アンケート実施並びにビデオの動画サイトへの投稿	

評価表

評価基準	目標以上に達成	目標を達成	目標達成まであと少し！	目標達成まで努力が必要
	(4点)	(3点)	(2点)	(1点)
アンケート作成	説明・紹介文、質問項目を3つ以上作成した。	説明・紹介文、質問項目を2つ作成した。	説明・紹介文、質問項目を1つ作成した。	なんとか作成したものの、ほとんど自力ではできなかった。
レシピ（スクリプト）の作成	原文だけでなく自身の表現を加え、現地での調理に配慮し、またビデオ撮りを意識したレシピができた。	原文だけを使い、現地での調理に配慮し、またビデオ撮りを意識したレシピができた。	レシピの作成はできたが、配慮に欠ける箇所があった。	現地での調理やビデオ撮りができないようなレシピだった。
発音と声の大きさ	抑揚も配慮した明瞭な発音ではっきりとした声の大きさだった。	明瞭な発音で話していることはわかった。	明瞭さに欠けることがあり、聞き取れないこともあった。	抑揚、発音に問題があり、何を話しているかわからないことが多かった。
スクリプトの再生	全くスクリプトを見ずに、調理している人を意識して再現できた。	スクリプトを見ることはあったが、調理している人を意識して再現できた。	スクリプトを見ながらでも再現できたが、調理している人を意識できないことがあった。	スクリプトを読んでいた、もしくは調理している人を全く意識せずに再現した。
内容理解	自分の担当のみならず、他のパートも理解しており、理解できていない人に助け船を出すことができた。	話している（スクリプトを再現している）人に合わせて調理できた。	時折スクリプトが理解できず、話している人に合わせて調理できないことがあった。	スクリプトが理解できず、動きが全く合わなかった。

目標分解表

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
外国人に人気がありそうな日本料理を挙げる。	どんな料理が現地でも調理可能かを考えながら、アンケートに入れるために料理をいくつかに絞り、それらをスペイン語で説明する。調査はインターネットで実施。	調理する料理を決めるためのアンケートを作成する。	スペイン語で日本料理の作り方を紹介するビデオを作成し、それを動画サイトにアップする。ビデオの視聴者がその料理を作りたいと思ってもらえるよう工夫し、日本料理の認知度を高めるツールとなるようにする。
その中から現地で作ってもらえそうな日本料理を挙げる。			
それらがスペイン語でどのように紹介されているのかを知る。			
食材や調味料、調理器具が現地で調達できるのかを調べる。			
【形成的評価】料理の説明文を和訳してもらい、フィードバック。			
アンケートに入れる質問項目を考える。	アンケートを作成する。		
アンケートに載せるため和訳した料理の要約を作成する。			
【形成的評価】アンケートに載せる料理の説明文の要約と質問項目を書いてもらい、フィードバック。			
メールでアンケートを依頼、実施する。	アンケートの結果を踏まえ、みんなで話し合いながら調理する料理を決める。	アンケートを実施し、その結果から調理する料理を決定し、スペイン語でレシピ並びにスクリプトを作成する。	
アンケートを集計する。			
アンケートの結果から調理する料理を決める。			
決めた料理のスペイン語で書かれたレシピを探す。	スペイン語で書かれた説明文やレシピを読み、ビデオ撮影のための要約（スクリプト）も作成する。		
レシピを和訳する。			
レシピを要約し、スクリプトを完成させる。			
【形成的評価】内容理解のためレシピの和訳をしてもらい、フィードバック後、要約（スクリプト）も作成し、さらにフィードバック。			
スペイン語で説明するパートを決める。	ビデオ撮りのため、仕上がったレシピを使って発音練習をする。さらに動作に合わせて話したり、説明に合わせて動いたりできるよう練習を重ねる。	ビデオを撮ること（聞き手）を意識した話し方、動作を心がけて話すことができる。	
各自担当パートの発音練習をする。			
スペイン語で説明する人と調理する人の分担を決める。			
実習のシミュレーション練習をする。			
【形成的評価】一度、ビデオ撮り本番に備えて発音の評価→フィードバック			
【総括的評価】スペイン語で説明しながら調理実習したビデオを完成させ、鑑賞しながら相互に評価し、意見を出し合う。その後動画サイトに投稿。			